

工学教育協会 第70回年次大会 (2022年度)  
工学教育研究講演会ならびに国際セッション講演募集要項

今大会では、新型コロナウイルスの今後の状況が見通せないため、口頭発表は、会場講義室でのオンサイト登壇と、Zoomを利用したオンライン登壇の二つの方式で、運営する方向で準備を進めます。各講演の登壇方式は、6月初旬の採否通知時にお知らせします。ポスター発表は、大会Webサイトでのオンライン登壇のみとなります。なお、状況により全面オンラインでの開催に変更する可能性があります。

1. 大会メインテーマ:

「ニューノーマルの時代における新しい工学教育」

テーマ趣旨: 新型コロナウイルス感染症がもたらしたパンデミックにより、第三のニューノーマル時代が到来したと言われている。ソーシャルディスタンス、外出時のマスク着用など生活様式の大きな変化に加え、リモートワークといった働き方改革が推進されるに至り、教育界にも大きな変革が求められてきた。政府が推進するGIGAスクール構想は前倒しで進められ、大学等での高等教育機関においてもICTを利活用するシステムが急速に構築された。工学教育の現場では、座学型の講義に加え、対面が必須と考えられてきた実験・実習科目からグループワーク科目に至るまでICTの利活用は拡がり、学生の学びを止めないための様々な学習機会が提供されるに至った。本大会では、コロナ禍における教育の最前線において、会員の皆様が実体験した工学教育の変化とその教訓、ICT利活用のメリットとデメリットなどを総括し、ニューノーマルの時代に向けた新たな工学教育に関して議論を深める。

主催: 日本工学教育協会, 関東工学教育協会

日時: 2022年9月7日(水)~9日(金)

会場: 関東地区の大学キャンパスで調整中

2. 講演募集テーマ

2.1 一般セッション講演: 工学教育・技術者教育の多様化に対応し、議論の活性化やオンサイト/オンライン登壇にも柔軟に対応できるよう、昨年と同様、講演募集テーマを従来のように細分化せず、大分類で募集いたします。申込時に口頭発表ではオンサイト/オンライン登壇方式を選択できますが、オンサイト登壇からオンライン登壇に変更をお願いする場合があります。ポスター発表は、全てのテーマで申込できますが、大会Webサイトでのオンライン登壇のみとなります。

(01) 大学・高専等における教育

(01-1) 講義・演習形式による教育方法とその教材開発  
基礎科目・専門科目の講義・演習、教材の開発、初年次教育、等

(01-2) 実験・実技を通じたエンジニアリング・デザイン教育の実践方法とその教材開発

実験・実技・教材の開発、ものづくり教育、リメディアル教育、エンジニアリング・デザイン教育、

等

(02) 教育力・教育システム

工学教育・システムの個性化・活性化、グローバル化、AI・データサイエンス・eラーニング、プロジェクトマネジメントとPBL、教育評価・自己点検・評価システム、グッドプラクティス、等

(03) オンライン教育とハイブリッド型教育

新しい授業システム (リモート、オンライン、オンデマンド、ハイブリッド型) 等

(04) 社会連携および企業・社会人教育

高大院連携、インターンシップ、社会貢献、社会人教育、企業における技術者教育、等

(05) 学生の教育・学修活動 (学生による登壇に限ります。)

学生の教育活動事例、学修活動事例、等

(06) 多様化時代のダイバーシティ推進

女性エンジニア育成、多様な学生への学修支援、等

2.2 国際セッション講演: テーマ「工学教育における国際連携」。申込時にオンサイト/オンライン登壇方式を選択できますが、オンサイト登壇からオンライン登壇に変更をお願いする場合があります。英文投稿・発表となります。

3. オーガナイズドセッションの公募:

オーガナイズドセッション (OS) のテーマを公募します。OSを提案する方は、2月18日(金)までにテーマ名、テーマ内容、予定発表論文数 (6件以上を目途) を担当までご連絡ください。

また、OSでは、ワークショップの時間も設定できます。開催するOSテーマは、3月末に発表され、一般からの申し込みも受け付けます。

4. 登壇者の資格

(1) 日本工学教育協会、または各地区工学教育協会の個人正会員、団体正会員 (学校・企業等)、および賛助会員に所属するもの。

(2) 協賛学協会の個人会員。

なお、学生の登壇の場合は、共著者に指導教員を加えてください。また発表には、上記(1)、(2)の資格を有する指導教員が同席することを原則とします。

## 5. 発表の申し込み

### 5.1 一般セッション講演(オーガナイズドセッションを含む):

論文とアブストラクトの同時申込とします。申し込み際には、大会Webサイトの応募要領を参照してください。

- (1) 受付期間: 2022年4月4日(月)~5月23日(月), 大会Webサイトにて。
- (2) 申込者には、6月初旬に採否ならびに登壇方式を通知します。
- (3) 登壇数制限: 口頭発表は、講演テーマに関わらず、登壇者1名につき3件以内とします。ポスター発表は、登壇者1名につき1件とします。

### 5.2 国際セッション講演:

- (1) 大会Webサイトに掲載されるCall for Papersを参照してお申し込みください。
- (2) 受付期間: 2022年4月4日(月)~5月23日(月)。担当までPDF文書にてメール送付ください。
- (3) 申込者には、6月初旬に採否ならびに登壇方式を通知します。

## 6. 原稿作成および投稿要領

### 6.1 一般セッション講演論文:

- (1) 原稿枚数は2ページとします。大会Webサイトに掲載の「工学教育研究講演論文集原稿の作成における注意事項」に従い作成し、大会Webサイトから電子投稿してください。書式、内容などに問題がある場合は、不採択となることがあります。
- (2) 著者の人数は6名以内とします。

### 6.2 国際セッション講演論文:

原稿は、大会Webサイトに掲載のAuthor's Guideを参照して作成してください。原稿は2もしくは4ページとします。国際セッション論文集を冊子として発刊します。

## 7. 発表要領:

発表時間は、1題目につき講演10分、討議5分(国際セッションも同様)。オンサイト/オンライン発表方式の詳細は今後公開される大会Webサイトの「発表における注意事項」を参照ください。

## 8. 費用, 表彰, 公開, その他

- (1) 費用: 登壇者・参加者は大会参加登録ならびに参加費(資料代を含む)が必要です。登壇者には参加費の他に、別に定める登壇料をお支払いいただきます。クレジット決済で当日まで登録可能です。

参加登録者を対象に8月23日(火)から大会Webサイトで論文を公開します。

事前申込参加登録は4月4日(月)より8月2日(火)までとし、申込者には8月23日(火)を目途にプログラム冊子他資料を送ります。8月3日(水)以降の参加登録の場合は、資料は大会後発送となります。

- (2) 表彰: 優れた発表には、JSEE研究講演会発表賞の授与を予定します。また、国際セッションでの優れた発表には、International Session Awardを授与いたします。
- (3) 公開: 発表論文は、一定期間終了後、J-STAGEに連載・公開されます。
- (4) 講演発表後、「工学教育」誌に掲載を希望される方は、「工学教育」投稿規定・執筆要領に準じて改めてご投稿いただき、編集・出版委員会の査読を経て掲載します。

## 9. キャンセルポリシー:

開催にあたって、不測の事態が生じた場合は中止、延期などの方策を講じる場合があります。なお、参加方式の変更による欠席の場合は、論文閲覧・資料送付に替えさせていただき参加費などの払い戻しはいたしませんので、ご承知おきください。大会Webサイトにてご案内します。

## 10. 担当: 日本工学教育協会事務局 川上

E-mail: kawakami@jsee.or.jp

URL: <https://www.jsee.or.jp/event/conference/>

### 2022年度協賛学協会(依頼予定, 五十音順)

IEEE Education Society Japan Chapter, 応用物理学会, 化学工学会, 教育システム情報学会, 空気調和・衛生工学会, 計測自動制御学会, 資源・素材学会, システム制御情報学会, 地盤工学会, 情報処理学会, 照明学会, 初年次教育学会, 精密工学会, 繊維学会, ターボ機械協会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本液体微粒化学会, 日本応用数理学会, 日本音響学会, 日本感性工学会, 日本機械学会, 日本技術史教育学会, 日本教育工学会, 日本金属学会, 日本経営工学会, 日本原子力学会, 日本建築学会, 日本工学アカデミー, 日本工学会, 日本工業英語協会, 日本数学会, 日本数式処理学会, 日本図学会, 日本生体医工学会, 日本設計工学会, 日本セラミックス協会, 日本塑性加工学会, 日本デザイン学会, 日本鉄鋼協会, 日本トライボロジー学会, 日本人間工学会, 日本防錆技術協会, 日本ロボット学会, PMI日本支部, 表面技術協会, プロジェクトマネジメント学会